



大学博物館による地域研究の発信

—広島大学総合博物館企画展
「宮島の魅力」を通して—



広島大学総合博物館

石川 菜央・岡橋 秀典・清水 則雄・橋本 知佳

1

本日の発表

学内で行われている地域研究を、
大学の博物館が
いかに発信できるか？



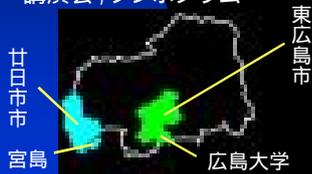
企画展を通して紹介

(R)

2

「世界遺産 宮島の魅力 —発進！！ 広大の宮島学—」

- 会場：東広島キャンパス
- 時期：H20年7月18日
～8月7日（21日間）
- イベント
講演会，シンポジウム



企画展の目的

- 広大の研究の発信（博物館の使命）
- 学内の学際的交流，研究の展開
→文学研究科内海文化研究施設
→理学研究科宮島自然植物実験所
- 地域貢献



展示のために

【資金】

- 副学長裁量経費・・・200万円
- 企業・・・1企業

【パネル作成に協力】

- 教員22人 + 1社

【人材】

- 博物館スタッフ4名



展示物

- **広大所蔵**: 厳島神社の柱(文学研究科)
貴重資料(図書館), 絵図(内海文化研究施設)
植物標本(実験所) など
- **借用**: 剥製, 宮島ホテル設計図, 貴重資料など
- **自作**: パネル46枚, 大願寺絵図レプリカ



テレビセミナーの放映

- 「厳島に学ぶ」 DVD(120分)
- RCC中国放送と広島大学が共同制作
- リアルタイムで見なかった方にも公開,
好評を得る



地域との連携

- **廿日市市教育委員会**の協力
→ 宮島歴史民俗資料館, 宮島観光協会から資料
→ **シンポジウム**, パネリストとして参加
研究者との活発な議論



9

「大願寺絵図」レプリカ作成

- 17世紀に作成された宮島全体の絵図
- 本邦初公開
→ 広大における研究も発展の可能性
- ほぼ実物大(畳八畳分)のレプリカを作成



10



宮島小中学校体育館で撮影

- 児童・生徒に本物の歴史絵図を見る機会
- 校長含め, 教員の来館
- 企画展後, 文化祭で出張展示



12

企画展で成果を上げた点

- 学内の異分野の研究者に交流のきっかけ
- 広島県を中心とする地元の方や宮島に関心をもつ方に研究を公開

宮島のもつ学術的価値と魅力、
広島大学の貢献を広く社会に発信できた。



反省点

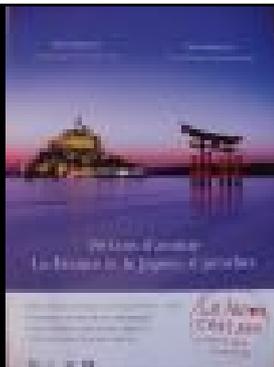
- 開催場所: 宮島から遠い, 交通の便が良くない
→ 宮島の方々, お年寄り, お子さんに負担
- 時期: 最も暑い8月に開催
→ 来館者の負担, 紅葉のイメージと異なる
- 南極展: 2,943名,
宮島展: 1,175名



14

おまけ

- 2008年: 日仏友好150年
- 廿日市市と
モン・サン・ミシェル
- 2009年5月16日(5日前)
観光友好都市提携 調印
- 広島ホームテレビ
開局記念番組にアイデア提供



15

ありがとうございました!



(博物館スタッフ一同)

16